

誰も教えてくれない

技術者に必要な原価計算とコストダウンへの活かし方

—材料費の試算ノウハウ、レート設定・時間計算のノウハウ、金型費と加工費の試算ノウハウ—

日時 2020年 **10月23日(金)** 10:00~17:00
(9:30 受付開始)

※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市中区泉2-21-28

受講料 **44,000円** (資料含む、消費税込)
*同時複数人数のお申し込みは2人目から39,600円

※追加申込の際は備考欄に「複数割引適用希望」とご記載ください。
(記載が無い場合は通常料金のご請求となる場合がございます。予めご了承ください)
※日本金型工業会、中部プラスチック連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。但し割引対象が重なる場合は、どちらか一つの割引を適用させていただきます。

日刊工業新聞社 名古屋支社 会場案内図



【アクセス】

名古屋駅から地下鉄桜通線徳重行に乗り、4つ目「高岳」下車。1番出口より徒歩3分。

※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。



セミナー申込を検討中の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症に伴うセミナー開催及び対応について、弊社WEBサイトにてご確認ください。

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/view/3693>

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をご郵送いたします。
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日1週間前までに銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

申込・問合せ 日刊工業新聞社 名古屋支社 イベントG
TEL 052 (931) 6158 (直通) FAX 052 (931) 6159

受講申込書

10/23 コストダウン原価計算

お申し込みは
<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>

会社名	フリガナ	業種	
氏名	フリガナ	TEL	
	部署・役職	FAX	
所在地	〒	E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/> チェックをしてください。
備考			<input type="checkbox"/> 日本金型工業会正会員 <input type="checkbox"/> 中部プラスチック連合会正会員

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。なお、メールの宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp
郵送による宛先変更・発送停止をご希望の際は、本紙を封入していた封筒のダイレクトメールの調査欄をご記入の上、本ページ中央部右下に記載の[申込・問合せ]連絡先へFAXにてご連絡ください。

開催主旨

- ◇製品の開発・設計段階やものづくりの準備段階でのコストダウンには、事前の原価計算が必要です。
- ◇製造業で業績が向上している企業では、技術者が図面段階で製品原価を算定し、それを活用して徹底したコストダウンを実践しています。
- ◇本セミナーは、図面段階での原価に携わっている技術者などの方々を対象に、原価計算の仕組みとコストダウンにより利益を得るためのコスト試算ノウハウを事例と演習を交え、徹底指導します。

セミナーでの習得ポイント

- ・歩留計算を含め、正しい材料費計算ができます
- ・加工費レート、設備費レートの設定を含め、正しい加工費計算ができます
- ・コストダウンの余地が数量化でき、コストダウンすべき製品の優先順位が分かります
- ・品質を維持しながらのコストダウンノウハウが分かります
- ・意思決定・損得計算の勘所が分かります

セミナー参加者には、参考文献として『見える化でわかる原価計算』（日刊工業新聞社刊）を贈呈させていただきます。

講師

(株)MEマネジメントサービス 代表取締役 経営コンサルタント、技術士(経営工学)

小川 正樹 氏

【略歴】 (株)日本能率協会を経て、(株)MEマネジメントサービス代表取締役、原価計算、原価管理、原価見積、原価企画などに関するシステムの立案、構築、実践やVE、IEや品質工学改善を通じて新製品開発や総合的コストダウンを展開し、企業の業績を改革するコンサルティング、社内教育、公開セミナーが活動の中心である。

【著書】 「絵で見る原価計算のしくみ」「高品質・低コスト生産のすべて」／日本能率協会マネジメントセンター、「見える化でわかる原価計算」「見える化で分かる製品原価管理」「見える化で分かる原価情報システム」／日刊工業新聞社などがある。

<http://www.mejapan.com/>

プログラム

1. 技術者に必要な原価計算の基礎知識

- ①原価の仕組みと原価計算の体系的な整理
 - ・直接費・間接費、変動費・固定費とは何か
- ②IoT、製品多様化時代の原価計算
 - ・IoT、自動化時代の見積原価計算と技術情報
 - ・事前コスト検討に必要な原価計算
 - －原価の基礎を確認しよう－

2. 技術者に必要な見積原価計算のノウハウ

- ①材料単価表の作り方
- ②材料消費量(歩留)と材料費計算
- ③加工賃率(加工費レート)の意味と作り方
- ④設備費レートの作り方
- ⑤金型費・時間計算のやり方
- ⑥加工費計算のやり方
 - －見積原価計算にトライしよう－

3. 技術者に必要な原価計算のコストダウンへの活用ノウハウ

- ①コストダウン対象製品を探すための原価計算
 - ・原価のポートフォリオを活用
- ②材料費の改善に必要な原価計算
 - ・材料費のコストダウン事例紹介

③品質改善に必要な原価計算

- ・品質に関する原価は利益を圧迫する
- ・1級品と2級品の判定を原価で判定する

④加工費の改善に必要な原価計算

- ・加工費のコストダウン事例紹介
 - －コストダウン対象製品を発掘しよう－

4. 技術者に必要な現場で役立つ損得計算

- ①原価計算を利益に結びつける
 - ・損益分岐点とは何か
 - ・限界利益・限界利益率とは何か
- ②赤字製品の生産を中止するか継続するか
 - ・作れば作るほど赤字になる製品とは
 - ・赤字受注をするかしないか
- ③原価計算を意思決定に結びつける
 - ・人を省人化できる協働ロボットの投資額はいくらか
 - ・モノの運搬は人と設備のどちらが得か
- ④停止時間、不良半減効果を算定する
 - ・操業度の違いで効果金額が違ってくる

電卓を必ずご持参ください。